

## 編み物について

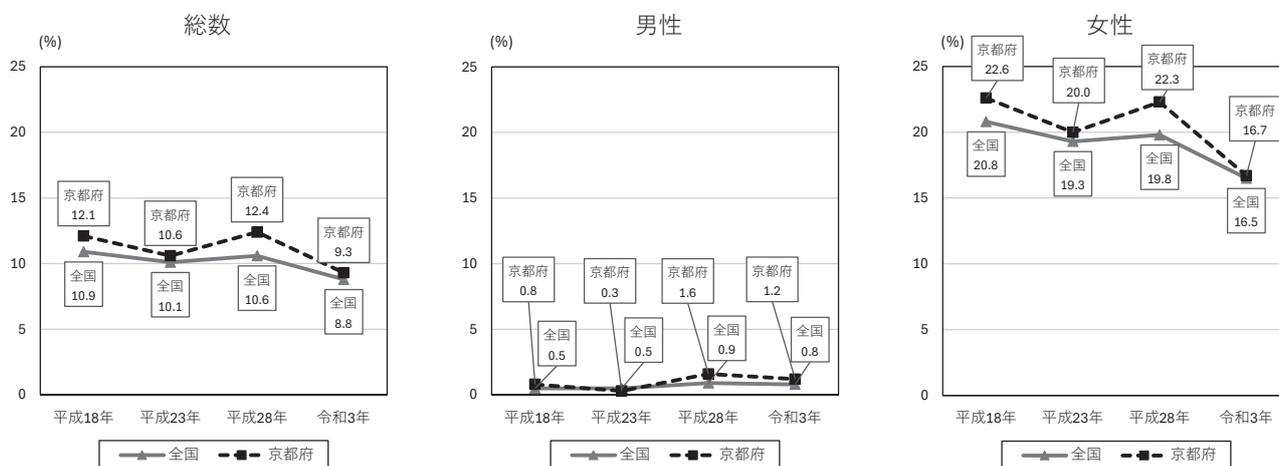
近年、SNS や動画配信サービスなどを通じて編み物の人気が高まっていると言われています。今回は、京都府における「編み物・手芸」の実施状況について、社会生活基本調査の平成 18 年から令和 3 年の結果を用いて調べてみました。

まず、京都府で「編み物・手芸」を行った人の割合（行動者率）を見てみましょう。行動者率とは、調査期日の過去 1 年間に、その活動を行った人の割合を指します。京都府の男女総数の行動者率は、令和 3 年に 9.3% となっており、1 年間で約 10 人に 1 人が編み物や手芸をしていたことが分かります。

また、京都府の行動者率は、平成 18 年以降の全ての年で全国の行動者率を上回っており、編み物や手芸をしている人が多いことがうかがえます。

次に、「編み物・手芸」の行動者率の推移を見てみると、平成 28 年に一度増加したものの、全体としては緩やかな減少傾向にあるようです。ただし、男女別に見ると、女性は減少傾向である一方、男性はわずかに増加していることが分かりました。全体の行動者率は減少していますが、編み物や手芸が幅広い人に親しまれる趣味に少しずつ変化しているのかもしれない。（図）

図 「編み物・手芸」の男女別行動者率の推移（全国・京都府）



出典：社会生活基本調査（総務省統計局）

編み物は、初心者でも手軽に始めやすく、リラックス効果もあります。新たな趣味として始めてみてはいかがでしょうか。また、今回用いた社会生活基本調査は、令和 8 年度に実施されます。編み物の人気の影響がどのように表れるのか、今後の調査結果にも注目していきたいと思います。